

# パオちゃん's EYE

2024年7月1日 発行 No.88

## この鳥って何ですか？

「私が見た鳥の名前を教えてください」といったお問い合わせをよくいただきます。電話やメールが多いものの、手紙でいただくこともあります。メールには画像データや音声データが添付されていたり、手紙には写真プリントが同封されていたりすることもあります。

「これは〇〇です」とお答えできることもあります。写真などが無い場合は「う〜ん、申し訳ありませんがわかりません」とお答えするしかないものが多いです。明確な回答を求められると苦しいこともあるのですが、こういったお問い合わせは謎解きをしているようで一緒に楽しませていただいています。

最近お問い合わせでいただくことが多いのはイソヒヨドリとケリです。いずれも1980年頃から分布域に変化が見られる種類です。イソヒヨドリのオスはいわゆる青い鳥で、さえずりもきれいです。以前は海辺で見られる鳥でしたが1980年頃から市街地へ進出し岡山や倉敷の駅ビルなどで確認されるようになり、最近ではさらに分布が広がりつつあります。

ケリは、以前は岡山では冬の鳥でしたが、1980年頃から広い水田地帯で繁殖するようになり、最近では小規模の水田でも見られるようになっています。

お問い合わせによって野鳥の分布や生態などが変化していくことがあることやそれが人間生活と関連していることなどを知っていただくきっかけとなっています。

なかには意外な回答となるお問い合わせもあります。それはおおかた月の初めにもたらされます。「朝、聞いたことがない鳥が鳴いていたのですが？」というものです。それは7時45分頃ではありませんでしたかとお尋ねすると「その頃です」と。それは毎月1日の朝と夕方に倉敷市が実施している防災スピーカーの試験放送の音です。音声には鳥の声・人の声・音声なしがあり、倉敷市では鳥の声を採用しているそうです（防災スピーカーは令和7年度末に廃止されます）。

江田伸司(動物担当)

パオちゃん's EYEに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp



「パオちゃん's EYE」  
は博物館ホームページでカラーで見られるよ！

